

# 《警察や市と連携し市内一斉に展開》 防犯組合の約1,900人がパトロール 年末の防犯体制を強化

～12月4日から13日までの10日間～

年末は、慌ただしく犯罪が起きやすい時期となるため、野田市防犯組合では、12月4日から13日までの間、16の支部約1,900人と野田市、野田警察署と連携しながら、「防犯組合年末一斉パトロール」を行う。

現在、自治会地区連合会を単位とする17の支部で計314の自主防犯組織が組織され活動している。市は全市域に広めようと、自主防犯組織の設立を支援している。

## ●市内における犯罪件数の状況

ここ3年の10月末における犯罪件数を比較すると、平成29年が1,019件、30年が891件、令和元年は877件と自主防犯組織を中心に実施した防犯活動により減少している。さらに令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響もあると考えられるが773件と減少し、犯罪発生は抑制されている。

これは、自主防犯組織など市民の防犯への取組や、市民と警察、市が連携した様々な防犯活動による成果と評価している。

※犯罪発生件数は、千葉県警察発表数値（令和2年は暫定値）

## ●約1,900人でパトロール

これから年末を迎え、人の動きが慌しく、支払や買物の機会が増えることから、お金の動きが一層活発となり、犯罪に遭いやすい時期となる。そこで防犯組合は、市と野田警察署と連携し、12月4日から13日までの期間「防犯組合年末一斉パトロール」を実施する。

パトロールは、総勢約1,900人が参加して行われる予定で、今年は新型コロナウイルス感染症が拡大している状況から、17の支部のうち16の支部で実施し、例年行っている出発式は行わない。開始時間に合わせて、支部内の各自主防犯組織が一斉に、地域の主要な道路から路地までを見回るパトロールを行うと同時に、市と野田警察署も各支部のパトロールに合わせて、青色回転灯搭載車両や警察車両による巡回パトロールを実施することとしている。

問合せ＝防災安全課・内線3129

野 田 市